交社 政整 審審

道路陥没事故でヒアリ

-空間の安全技術確立



交通政策審議会技術分科 社会資本整備審議会・

日、東京・霞が関の国土 交通省特別会議室で第二 「地下空間の利活用に

会技術部会は四月十四

| 因究明について報告を受 |を開催した。 福岡市地下 水道局、一般社団法人日 おける道路陥没事故の原 鉄七隈線延伸工事現場に 合会、一般社団法人日本

| グを行い、活発に意見交 建設業連合会、公益社団 法人土木学会のヒアリン 博多駅前付近の福岡市交 昨年十一月八日、JR



技術部会小委が再発防止策検討

同省技監が冒頭あいさつ

にあたって①地質・地下

第二回小委では森昌文

に立ち「地下空間におけ

な議論をお願いする」と などに留意し、必要な調 る問題点をしっかりと捉

坑内の水抜き・土砂撤去 水の状況把握②トンネル

性を高めながら現場力を 維持できるよう法制度を 見直しを進めている。 十年後も建設産業が生産 基本的な枠組みについて 建設産業政策会議では)の基本的考え方示す 大森座長



建設産業政策会議WGで論議

支 持



株式会社

場で道路陥没事故が発 本社 〒104-8251 東京都中央区新富1-19-2 ☎03-3552-7331(大代表) 営業本部 ☎03-3552-7091(代 表) 本社 東京・支店 営業所 全国主要都市

契約関係における受発注 や発注者保護の観点から 建設業法の本質的な目的 である適正な施工の確保

務などを盛り込む考え 者の規律の見直しを促し 万式や工場製品売買契約 する規律では適正な工期 た。とくに請負契約に関 設定で契約を締結する責

化について検討する。 取事項として技能労働者 よる下請負人への意見聴 に求められる技能の明

はさまざまな要因が複合 が高いと推定。工事再開 度や厚さ」と「地下水圧 たと考えられるものの 的に作用して陥没に至っ の影響」の二点の可能性 難透水性風化岩層の強

を設けて原因究明に努め

長·都市環境学部教授)

を進めていく。技能労働者自身や雇用する建設会社に対する責務などを定める方針だ。 考え方をまとめた。技能労働者については確保・育成の観点から制度上で位置づける方向で検討 日、東京・霞が関の中央合同庁舎四号館特別会議室で第三回「法制度・許可ワーキンググルー 国土交通省の建設産業政策会議(座長・石原邦夫東京海上日動火災保険㈱相談役)は四月十八 (座長・大森文彦弁護士・東洋大学法学部教授)を開き、法制度の見直しに向けた基本的な 法制度で位置

ググループを設けて論議 の三つのワーキン

建設産業は人口減少や 安心して建設工事を発注 な課題となっている。 できる環境づくりが重要 い、または発注の体制が って適正な施工が確保さ 一分ではない発注者でも こうした状況を踏ま

ス、基本的な考え方では 性のある要件への見直し 働者を雇用する建設会社 に対する責務に加え、 技能労働者自身や技能労 技能労働者については

けの明確化、 基幹技能者などの位置づ 工体制台帳における登録 元請負人に

力を確保することが不可 欠だ。受発注の適切な連 確保が求められている。 また長時間労働の是正や

割や責任を一段と明確に 数の見直しを進めつつ役 を促進するため、経験年 ては適切な経営管理など 管理責任者の要件につい 許可要件のうち経営業務 制度の全体像を見直す。 保という視点も加味し、 向上や地域の守り手の確

確に対応できる制度設計 域における建設業の供給 働き方改革などに的

についても必要な規律を

TERADA

備えて安全シリーズ・・・全国の官公庁・工場に数々の納入実績!

防災・災害復旧に大活躍します。



ETS-80-100



E-7N4 (安全対策装備)



EP 据置式 2輪台車付 4輪台車付

株式 寿田ポンブ製作所 会社

本社 〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3-17 TEL.0745 (52) 5101 FAX.0745(23)0013 東京 北関東 仙台 新潟 名古屋 静岡 大阪 岡山 高松 広島 福岡

発 行 所 (株)日本設備工業新聞社 東京都渋谷区桜丘町 10-13 〒150-0031 野元第1ビル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884 iifo@setubikowa co ii

